

## 代表質問



たまだ てるよし  
**玉田 輝義**  
(豊後大野市)

### 豊予海峡ルート

佐藤知事は、大分市長時代から一貫して、「豊予海峡ルート」整備の実現に意欲を示している。

対して、広瀬前知事は東九州新幹線整備を目指し、整備計画路線への格上げを国へ要望してきた。

双方の調査結果をみると費用を上回る効果があるということだが、いずれの試算でも本県の負担額は数千億円以上と巨額になっている。また、2つもの巨額なプロジェクトを抱えるとなれば、財政面で大きな影響が出ることは避けられない。

広域交通網整備としては、重要課題の一つの中九州横断道路はようやくその全貌が見えつつある段階、東九州新幹線の方はまだこれからという中で、提案理由説明でも四国新幹線に触れていたように、突然、豊予海峡ルートにスポットがあたったという感が否めない。

知事に、①豊予海峡ルートの推進に当たっての財政的な負担

についての認識と、②まずは現在取り組んでいる広域交通網の整備に優先して取り組んでいくべきでは、と2点について考えを聞きました。

### 【佐藤知事】

今後、東九州新幹線が整備されると、大分から福岡や宮崎へのアクセスが大幅に改善する。同じ基本計画路線である四国新幹線が計画どおり大分まで開通すれば、新大阪までが2時間余りとなり、東京、名古屋、大阪間のリニア中央新幹線によって形成される巨大経済圏とも短時間で結ばれます。加えて、このように複数の広域交通ネットワークが連結することで、国土の均衡ある発展や、災害時のリダンダンシーの確保など、我が国全体に大きな効果が期待されることから、国家プロジェクトとして進めなければならぬ。議員ご指摘のとおり、地方にも一定の財政負担が生じるが、新幹線・道路とも現在は計画段階のため、具体的なルートや事業主体は今後の検討事項であり、建設費用や負担割合も同様。県としては、引き続き、地方の財政負担が軽減されるよう、国に働きかけていく。

一方、広域交通網の整備についても、まずは、東九州自動車道や中九州横断道路等の高規格道路の整備に全力を傾注する。加えて、これらの道路ネットワーク

ワークが豊予海峡を通じて四国の高速道路とつながること、これまで取り組んできた高規格道路の価値も飛躍的に高まることを念頭に、今後の広域交通網の整備に取り組んでいく。

豊予海峡ルートにどのように向き合つか。これからの大きな課題です。

## 一般質問



にのみやけんし  
**二ノ宮 健治**  
(由布市)

### 新知事へ新たな 県政の推進を期待!!

#### ◆農工併進の県政推進について

本県の鉱業製造品出荷額は福岡県に次いで九州第2位、一方、農業産出額は、毎年佐賀県と最下位争いを展開しており、県民の農業県だとの思いとは乖離しています。

県は、昭和39年に大分地区が新産業都市として指定されるまでは、農業中心の県でしたが、働く場の創出そして県民所得の向上を目指した「大分地区新産業都市構想」により工業重視の県政が進められてきました。

今回の提案は、当時とは真逆の、工業に比べ極端に落ち込んでいる農業を引き上げるための

「農工併進」政策の推進についてです。

決して工業県が悪いと言っているのではなく、さらに工業重視の県政が進んでいくと、工業地域に人口が集中し農村から人が消えて崩壊していくの思いからです。

県農政も「大分県農業非常事態宣言」など多くの取組みを行ってきましたが、広瀬前知事を以てしても農業・農村地域政策については残念ながら成果を上げることが出来ず、結果、九州最下位の農業産出額となっております。

一方、工業については、「地域バランス」という点で農村地域への配慮が必要だとの提案です。

これまでの企業誘致は、勿論企業の利便性が一番だと思えますが、ほとんどが大分市がダイハツ関連の中津市・宇佐市に集中しています。この地域に、人口をはじめとする一極集中が進んだ結果、農村に人がいなくなり疲弊している現状に、企業誘致の偏りが大きく影響していると感じています。

地方に働く場が出来れば、農業との兼業も可能となり人も住むようになると考えています。

新しい県政のスタートに当たり、農業政策の抜本的な見直しを行い農業・農村が活性化するための農政の推進と、企業誘致

においても農村地域へ配慮するなど、農業と工業の均衡ある県政運営が急務と質しました。

### 【知事答弁】

農業と工業のバランスある県政推進を重点課題として取り組んでいく。

これまでの県農政は、米中心であったが平成29年を「水田畑地化元年」と位置づけ、ネギ、ピーマンなどの園芸品目主体の農業に取り組んでいる。特に中山間地域での担い手確保等の観点から法人の組織化など中山間地農業の推進に努める。企業誘致については、「地域バランス」が重要であり、競争激化の中で企業に選んでもらえるための、地域の特性を生かした企業誘致に取り組む。特に農村部への農業関連企業の参入を積極的に進める。との一般的な回答でした。

## 一般質問



ふくざき ともゆき  
**福崎 智幸**  
(大分市)

### カーボンニュートラルの 実現について

「カーボンニュートラル」の実現は、持続可能な新しい社会を創造する上で不可欠であることから、本県での取り組みや考